

★ここが知りたい!★ 米沢市立病院紹介 ②

☆リハビリテーション科編☆

リハビリテーション科長の三浦啓己医師（写真：左）と主査の佐藤堅一
理学療法士（写真：右）にお話を聞いてみましょう。



Q リハビリテーション科とは、どんな診療科ですか？

A リハビリテーションとは本来、社会的権利の回復を意味する言葉です。医学的には、障がいによってそれまでのような社会参加ができなくなった人に対して「残された機能を活用したり、環境を整えて再び社会参加をできるようにすること」と、されています。

具体的には、病気やケガで起き上がれなくなった人には、寝返りや起き上がって座る練習をしたり、歩けなくなった人には、立って歩く練習をします。また、着替え・トイレ・お風呂など日常生活動作の練習、言葉の練習（話す、発声など）、食べる練習（嚥下：飲み込み）などを行います。できるだけ元の状態に戻すことを目標に、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がこれらを行っています。

整形外科や脳神経外科の患者さんはもちろんですが、がんや心臓の手術を受けた患者さん、急性心筋梗塞の患者さんに対しても、早期から積極的にリハビリテーションを行っています。また、骨粗しょう症治療の一環として、転倒予防の指導や運動療法を行ったり、がんの手術後のリンパ浮腫（むくみ）に対してリンパドレナージ療法を行っています。

今後も患者さんの機能回復に貢献できるよう、リハビリテーションの充実を図っていきたいと思います。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>